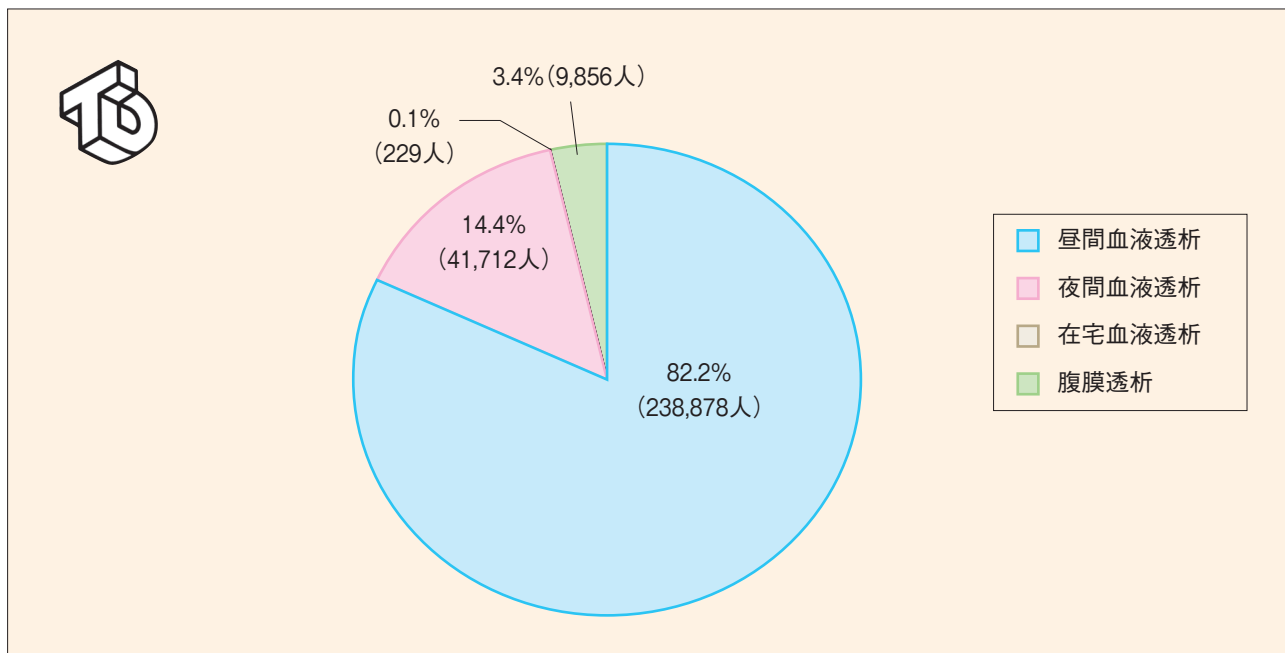


2) 患者数等

(5) 慢性透析治療の形態 (図表6)



都道府県名	昼間透析	夜間透析	在宅血液透析	腹膜透析	計
北海道	12,357	1,346	14	524	14,241
青森県	2,835	254	0	103	3,192
岩手県	2,410	331	0	131	2,872
宮城県	3,809	872	0	72	4,753
秋田県	1,616	150	0	69	1,835
山形県	1,966	257	2	131	2,356
福島県	4,017	471	0	217	4,705
茨城県	5,788	875	1	149	6,813
栃木県	4,532	742	2	50	5,326
群馬県	4,228	756	0	94	5,078
埼玉県	12,196	1,866	41	385	14,488
千葉県	10,373	1,813	1	275	12,462
東京都	22,075	4,995	6	1,003	28,079
神奈川県	13,841	3,091	13	518	17,463
新潟県	3,537	1,004	1	169	4,711
富山県	1,921	263	1	76	2,261
石川県	1,989	327	0	94	2,410
福井県	1,512	173	0	83	1,768
山梨県	1,868	201	1	64	2,134
長野県	3,691	734	1	131	4,557
岐阜県	3,406	636	5	137	4,184
静岡県	7,537	1,438	4	254	9,233
愛知県	12,090	3,169	33	621	15,913
三重県	3,171	610	3	126	3,910

都道府県名	昼間透析	夜間透析	在宅血液透析	腹膜透析	計
滋賀県	2,081	420	13	123	2,637
京都府	4,554	1,034	2	256	5,846
大阪府	17,453	2,875	39	669	21,036
兵庫県	10,016	1,675	17	313	12,021
奈良県	2,730	234	5	100	3,069
和歌山県	2,435	260	1	31	2,727
鳥取県	1,099	128	0	93	1,320
島根県	1,172	147	0	95	1,414
岡山県	3,597	447	0	257	4,301
広島県	5,885	557	5	500	6,947
山口県	2,810	360	0	140	3,310
徳島県	2,077	275	0	182	2,534
香川県	2,071	160	6	243	2,480
愛媛県	2,797	420	1	152	3,370
高知県	1,897	236	0	42	2,175
福岡県	10,189	2,377	4	522	13,092
佐賀県	1,761	271	1	15	2,048
長崎県	3,091	459	3	163	3,716
熊本県	4,702	982	0	141	5,825
大分県	3,235	334	1	135	3,705
宮崎県	2,914	493	0	36	3,443
鹿児島県	4,194	608	2	99	4,903
沖縄県	3,353	586	0	73	4,012
合計	238,878	41,712	229	9,856	290,675

※慢性透析患者の総数は、シートⅠ患者総数欄の合計であり、治療方法別患者数の合計とは必ずしも一致しない。

施設調査による集計

解説

2009年における慢性透析患者の治療形態は昼間血液透析が238,878人(82.2%)で、前年度より0.5%増加した。夜間血液透析は41,712人(14.4%)で0.6%減少した。在宅血液透析患者は229人(0.1%)であった。在宅血液透析は埼玉県、大阪府、愛知県、兵庫県、北海道、滋賀県、神奈川県で10人以上が実施されていて、一人もいない県が17県あり、地域偏在が観察された。腹膜透析患者数は9,856人(3.4%)であり前年度より患者数で7.6%、割合で0.2%増加した。腹膜透析患者は全国に均等に存在しているが、5%以上存在する県は7県であり、多い順から、香川県(9.8%)、徳島県(7.2%)、広島県(7.2%)、鳥取県(7.0%)、島根県(6.7%)、岡山県(6.0%)、山形県(5.6%)であった。